



広報

MATSUYAMA CITY

まつやま

平成23年 2011.06.01

No.1199

主な内容

- 環境特集4・5面
- みんなの松山わいわいトーク参加者募集 ...3面
- 市民ガイド6・7面
- 松山まつり出場チーム募集8面

発行:松山市役所/編集:総合政策部広報課/毎月1日・15日 ☎948-6705 FAX 934-2578 HP http://www.city.matsuyama.ehime.jp/

市勢 平成23年5月1日現在推計(前月比) ●面積:429.05km² ●人口:516,389人(+1,463) ●男:241,415人 ●女:274,974人 ●世帯数:229,505世帯(+1,154) ●一世帯の平均:2.25人 ●人口密度:1,204人/km²

“自ら提案、みんなで議論”市長とともに コミュニケーション能力の向上を! 響きあう言葉で創るスクールミーティング 開催



石田 莉子 さん
いい話し手は、いい聞き手になることだと思います。だからしっかりと相手の話を聞き、コミュニケーション能力の向上につなげたいです。

いい話し手は、いい聞き手



野志市長(写真中央)も参加したグループ討議で、積極的に考えを相手に伝える児童ら

コミュニケーション能力のさらなる向上を図ろうと、子ども自身による提案議題を市長を交えみんなで話し合う「市長とともに!響きあう言葉で創るスクールミーティング」。今年度は10校を予定しており、1回目となる5月11日のたばな小学校では6年生が参加し、子どもならではの発想豊かな意見が飛び交いました。

相手を理解し、自分の価値を見つけよう



和田 誠那 くん
相手の話を聞くと自分の知らなかったことが分かる時があるのです。みんなで話し合いをすることは大切だと思います。

自分の知らないことが分かるよ

お問い合わせは、(教学校) 教育課 ☎948 6591・FAX 934 1815へ

「はい!」。たばな小6年生106人の手が挙がります。自分たちで提案した議題「被災地の人のために自分たちができること」をテーマにグループで話し合い、一人一人の考えを自分の言葉で発表していきました。

「手紙でなくビデオレターを送ると表情が伝わるよ」と発表すると「その提案はいいと思うけど、被災地に再生機がなかったら見られないと思います」など、しっかりと意見交換が続きました。

グループ討議に参加し、時にはアドバイスもした野志市長は「コミュニケーションを通し、相手を理解するとともに自分自身の価値も見つけてほしい」と話しました。



たくさんの手が挙がり活発な意見交換となったスクールミーティング

お問い合わせは、観光産業振興課 ☎948 6555・FAX 934 1764へ

鹿島の静寂をかき消す鐘と太鼓のリズムが響き、「ホーランエ」の歌声に、児童はポテンデンを青年は剣権をテンポよく振り始めます。

権練り船が鹿島から漕ぎ出する合図です。

起源は河野水軍の戦勝祈願と凱旋の祝賀奉賛といわれ、県無形民俗文化財に指定。

家族で訪れた村上心詩くん(新玉小5年)は「権を振る人が飛び跳ねるのがすごい」と笑顔で見せていました。

みこしを乗せた御船を引き幾回となく海上を旋廻した権練り船は、中世の時代絵巻のごとき姿を見物客の目に焼き付け、斎灘に航跡を残し鹿島へと戻っていきました。



5月3日 権練り

中世・伊予の豪族河野氏の伝統が受け継がれる北条地域。5月3日、4日に開催された北条鹿島まつりに延べ約6000人の見物客が訪れ、「権練り」や「大注連縄張替え」の海で生きてきた河野氏の魂に心躍らせました。

北条鹿島まつり

河野氏の魂、今に伝える

斎灘の汀に開けた風早文化

5月4日 大注連縄張替え

海上安全と五穀豊穡を祈願する大注連縄張替えは、河野氏による源平合戦の戦勝祈願の故事にちなんだ伝統行事です。

消防団や観光客ら約70人で作る長さ45m、重さ1tにもなるジャンボサイズのしめ縄には、鹿島に訪れた人らが書き記した「願い文」約700通も編み込まれました。



大しめ縄は鹿島沖の玉理・寒戸島(通称・夫婦岩)に運ばれ、見物客が見守る中、消防団の空中妙技により見事に張り替えられました。

初めて見たベク・ジウンさん(聖カタリナ大3年)は「張り替えの迫力にびっくりです」と目を丸くしていました。